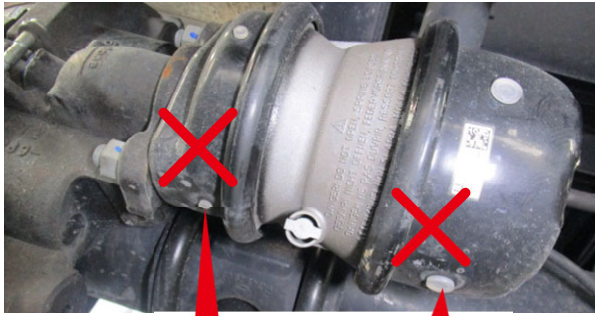


ブレーキチャンバ交換時のプラグ取り忘れに注意

～ブレーキ引きずり・チャンバ故障の原因になります～

アフター部品のブレーキチャンバには白色の樹脂製プラグが装着されています。
交換後に下側のプラグを取り外さないと、チャンバ内部への水分滞留による早期劣化や、
ブレーキの作動不良、ブレーキ引きずりにつながる場合があります。



NG: プラグ取り忘れ



OK: 下側のプラグを外している

1 ドラムブレーキ車で下側のプラグを取り忘れると P2



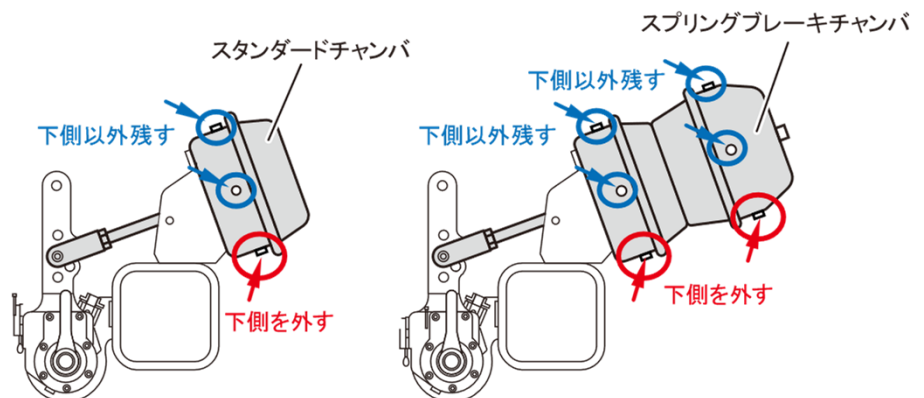
プラグ取り忘れ

- 制動力低下
- ブレーキ作動不良



チャンバ内部に水分滞留

- 内部腐食
- スプリングの錆、破損



2 ディスクブレーキ車で下側のプラグを取り忘れると P3



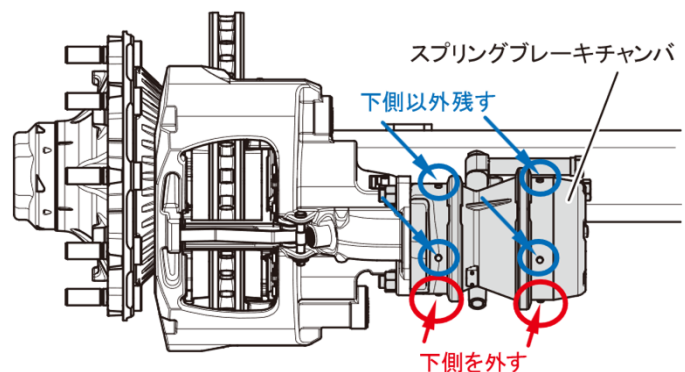
プッシュロッド部が防水構造となっているため、
チャンバ内部が密閉状態となり

- ブレーキ引きずり
- ブレーキロータ過熱



チャンバ内部に水分滞留

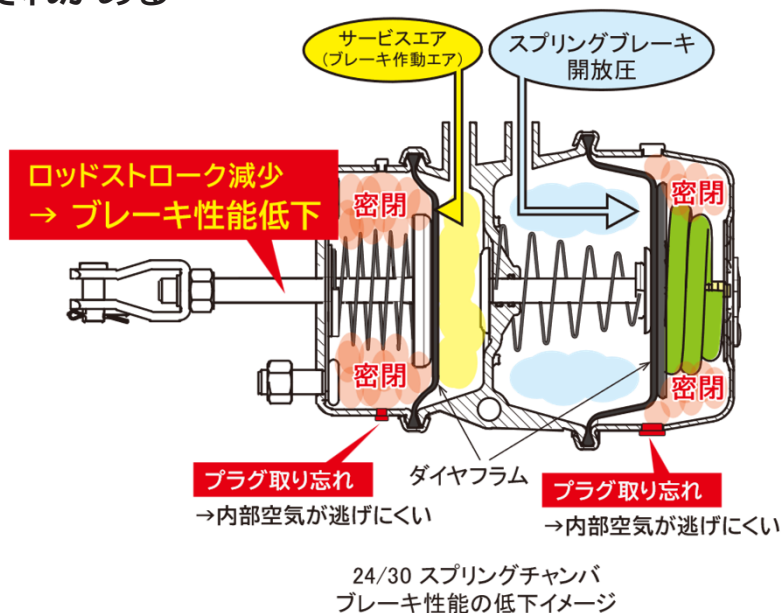
- 内部腐食
- スプリングの錆、破損



特にディスクブレーキ車では、車検・ブレーキテスト合格後でも
運行開始後にブレーキ引きずりが発生する場合があります。
ブレーキチャンバ交換時は下側のプラグを必ず取り外してください。

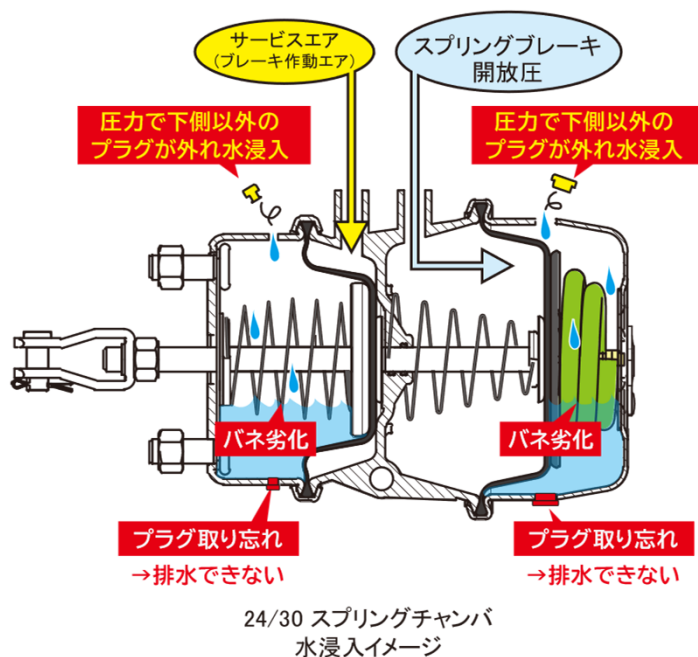
1 ドラムブレーキ車で下側のプラグを取り忘れると

①ブレーキ性能が低下するおそれがある



圧力により下側以外のプラグが外れ、水が侵入する場合があります。

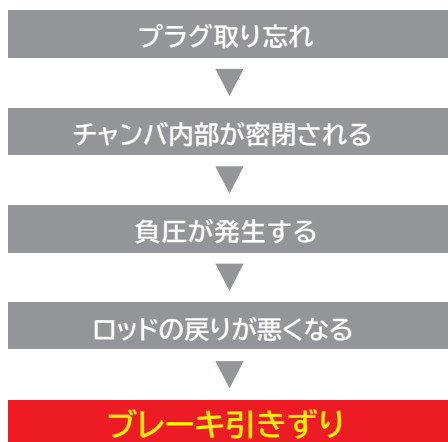
②チャンバ内部に水がたまる



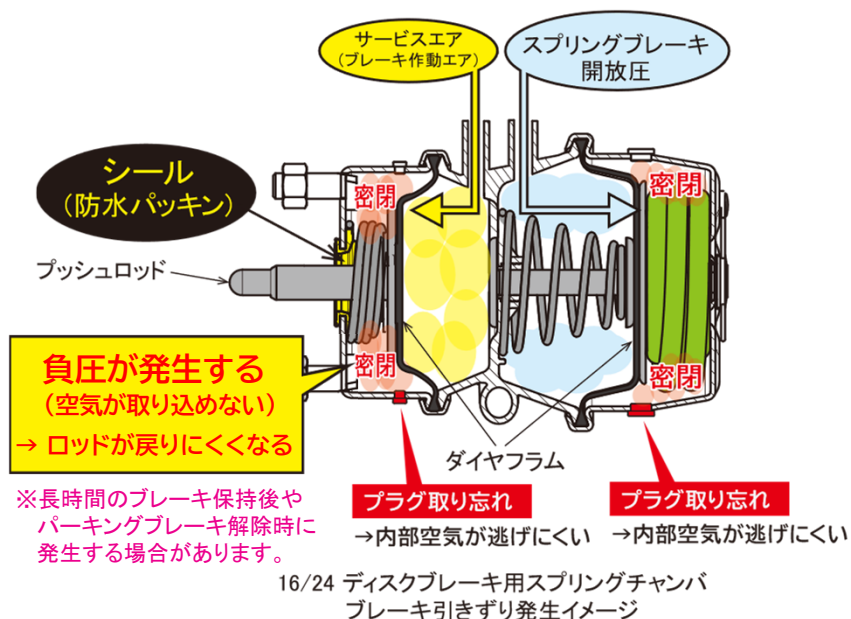
下側プラグの取り忘れは、ブレーキ性能低下や内部腐食の原因となります。
また、腐食の進行によるスプリング破損やブレーキ引きずりは
車両火災につながるおそれがあります。

2 ディスクブレーキ車で下側のプラグを取り忘れると

① ブレーキ引きずりが発生するおそれがある

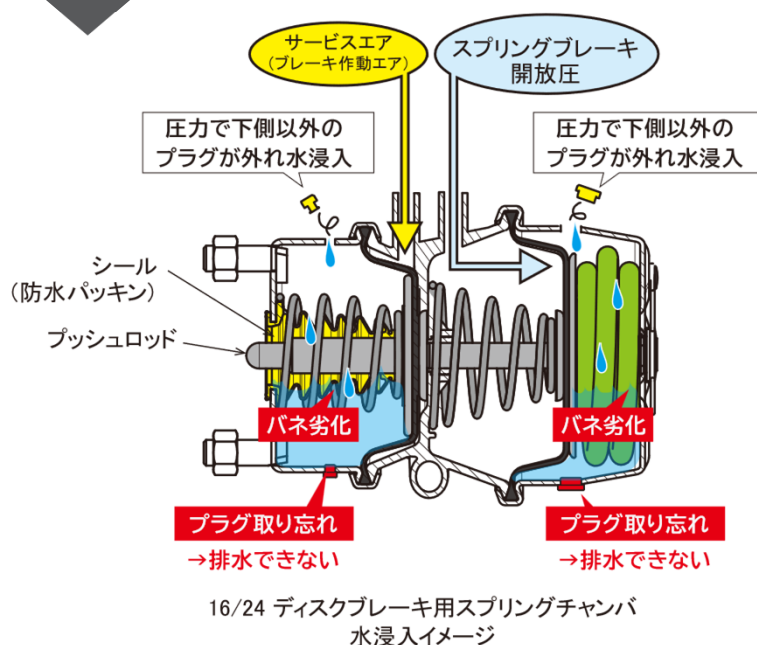
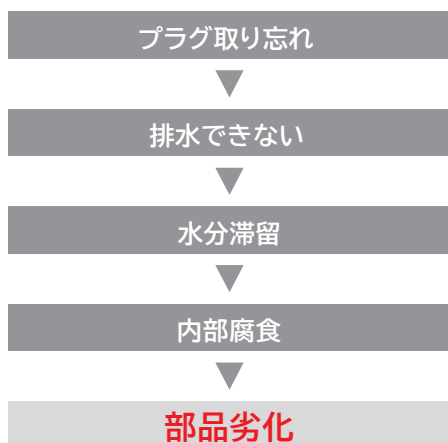


→ブレーキ過熱
→ロータ過熱
→パッド異常摩耗
が発生する場合があります。



圧力により下側以外のプラグが外れ、水が侵入する場合があります。

② チャンバ内部に水がたまる



下側プラグの取り忘れは、
ブレーキ引きずりや部品の早期劣化の原因となります。
パッド異常摩耗やロータ過熱を招く場合があります。